

# 回覧

令和2年11月25日

桜台地区にお住いの皆様へ

## 件名:桜台自治会の会員として頑張ろう

桜台自治会会長 星野勝弘

桜台自治会は、住民同士が協力し合い助け合い、安全安心で快適な生活を送るための自主的な住民組織です。令和2年11月現在、桜台地区住民1237世帯のうち、会員数が1206世帯(入会率97.5%)になる自治会で、高い入会率は自治会の誇りです。

桜台地区では丁目、区、班からなる住民組織を束ねて自治会活動を展開していますが、幸いなことにボランティア精神に富んだ会員の皆さんの積極的取組と親密な近所付き合いにより、桜台自治会は近隣自治会の模範となるような自治会に成長してきました。

深代池の桜を愛でる春の桜祭り、子供神輿や盆踊りで賑わう夏祭り、作品展やお稽古ごとの発表会で盛り上がる秋のフェスティバルなど、会員の皆さんの新しい”ふるさとづくり”に取り組んできた熱気が感じられる自治会になっています。詳細は桜台自治会のホームページ <https://桜台自治会.com/>で見ることができます。

しかしながら高齢化の波が押し寄せ、65歳以上の住民比率は49%を超え、今までは会員の熱意に支えられてきた各種行事の企画運営も重荷になり、いつしか見直しがささやかれるようになってきました。

地区内には空き家(68件)、空地(9件)が増えてきていること、自治会を支える会員の体力的限界なども問題になってきています。先般実施したアンケートでも高齢化による自治会活動の問題点が明らかになっており、自治会としてはこれらの問題の解決について鋭意取り組んでいきたいと思えます。

会員の中には、高齢化のため今まで通りの会員としての役割(理事や班長業務)ができないという理由で、自治会を脱退したいという人もいと聞いていますが、このような安易な行動は、自治会が目的とする安全で安心な地域づくりとは明らかに逆行するものであり、このような重要な課題は個人的な問題ではなく、自治会の共通課題として解決していきたいと考えています。

空き家問題だけでなく、空き巣やオレオレ詐欺等の犯罪、今後予想される買い物困難住民の増加、介護や独居者への支援、さらには地震や台風等の自然災害への対応など、避けては通れない問題に対応していくためには、地区内で会員から漏れた人を出してはなりませんし、高齢化が進む会員の不安に対して応えていく自治会でなくてはなりません。

脱会した人には是非もう一度戻ってきてほしいし、他の地区から新しく転入して来られた人には是非この桜台自治会の伝統ある活動の一翼を担ってほしいと思っています。

うれしいことに、桜台地区の世帯数の減少に歯止めがかかって、最近はや若い移住者も増加傾向にあり、小学生も増えつつあるのは大変喜ばしいことです。椎の木台に隣接する袖ヶ浦地区に

大規模工業団地が開発されており、就業者も増えることから今後桜台地区への転入が増えてくることが期待されております。月500円、年6000円という会費を出していただいている皆さんにとって価値のあるお金にしていかなければなりません。会費を払い続けているのに何の恩恵も感じられない、会費はもっと安くすべき、回覧板なんか見なくても何ら問題ない、自治会を止めたい、などというお声を聞くたびに、もっと自治会の活動について知ってもらいたいと思います。

そこで、桜台自治会の取り組んでいる活動のポイントを知っていただき、会員にとってその利点はなにか、また住民は全員、会員であってほしい理由についてまとめてみました。

### 1. 防災・災害救援活動は会員、非会員の区別で動けない

30年で70%の確率で予想される首都圏直下型地震や、温暖化に伴う想像を絶する台風の襲来、豪雨災害などに備えて、桜台自治会では防災組織として桜台自主防災会を立ち上げ、日頃からの防災活動はもとより、災害発生時に必要な救援活動を想定して活動を続けてきました。

緊急時において、防災活動、救援活動は会員、非会員を区別することはできませんし、日頃から会員として一体となった訓練や対応が必要となってきます。

近所に住む緊急時要介護者の安否確認、避難支援や救助、住民相互の助け合いなどを実行していくには、日頃から地域情報を共有化して訓練していく必要があります。また緊急時の避難場所での公的支援や住民の自主的防災活動をスムーズに行うためにも、防災組織のもとで一体的な活動をしていくためには、住民は自治会会員である必要があります。

### 2. 環境維持活動の推進

地域内の環境維持活動は住民の参加と協力のもとに実施されてきました。桜台地区の環境維持は会員、非会員を問わず住民全員で進めなくてはなりません。

ゴミステーションの管理では、ごみ収集車がごみ収集後のゴミステーションの清掃、未収集ごみの対応等の日常管理を、会員、非会員を問わず住民全員が当番制で実施してきました。

ゴミステーションの支柱や網等の補修は会員のボランティア活動で実施し、費用は自治会費から支払われてきました。日頃から利用者はもちろんのこと、地区長、理事、班長の役員の方が衛生的観点だけでなく、不法投棄等や未回収ゴミの放置に気を配って点検をしていただき、清潔に維持管理してきました。他の地区には見られない団地開発時から確保されたゴミの集積場所と清潔な維持管理は、桜台自治会の自慢です。

またバス周回道路添いに設けられた花壇は、花ボランティアの皆さんの活動で、四季を問わず咲き乱れる花で心を癒されていますが、桜台地区の住環境をさらに高めてくれるものに、春には桜の名所となった深代池と、県内でも強豪チームと評判の高い市原マリーンズのホームグラウンドのある中央公園をはじめ、各町内にある4つの子供公園は、桜台地区の不動産価値を高めてくれる会員皆さんの共同の資産でもあります。

これら公園や生活道路等はもちろん市が管理するものですが、市の管理の及ばないところをカバーする形で、会員の皆さんの高い環境意識と会員の協力のもとに、定期的に清掃活動を実施

してきました。きれいに維持管理された環境の恩恵は会員・非会員を問わず受けてきました。

### 3. もめごとのない安全安心な地域づくり

ほぼ毎日のように実施しているボランティアグループによる防犯パトロールや、広報車による防犯呼びかけ等の防犯活動とともに、班ごとの緊密な連絡網による情報収集をもとに、空き家対応やゴミの不法投棄、不審者対策などは自治会の自主的活動として定着してきました。

空地の伸びた樹木や雑草問題、落ち葉問題、騒音などの隣近所の迷惑行為やトラブルがあった場合は、自治会に連絡していただければ解決策を提案し一緒に問題解決を図ってきました。どんな些細な問題でも小さなうちに迅速に対応することを心がけて対応しています。

地域内の防犯灯は市によって年々増えてきていますが、電気料金は市からの補助金と会員の会費から支払われています。暗くて危険なところはこれからも皆さんの提案に基づき防犯灯を増やして、無くしていきたいと思っています。

### 4. 自治会の現在活動を知って一緒に活動を盛り上げよう

すべての自治会活動に関する情報は、“回覧板”で知ることができます。月数回以上回ってくる回覧板は、自治会事務局から、理事、班長を経由して班内で回覧されます。

月1回発行される「桜台ニュース」は、本部役員会議事録をはじめ自治会の活動についてホットな情報を提供してくれます。また年3回発行される「桜台だより」は、自治会主催の夏祭り、秋のフェスティバル等のイベントやボランティア活動、自治会の専門部会活動などが紹介されております。その他、防犯や防災に関する情報、有秋地区に関する情報、有秋南小学校・有秋中学校の行事予定や連絡など、地域の多くの情報を得ることができます。

### 5. 自治会のイベントは桜台の“ふるさと”づくり

理事や班長のご尽力やボランティアの皆さんの熱い思いで、団地ができて以来続けられてきた桜祭り、夏祭り(子供神輿、子供太鼓、盆踊り、出店)、文化祭(作品展、カラオケ大会等)などのイベントは、故郷を離れてここ桜台で新しく家族を持った会員の皆さんの“ふるさと”づくりの活動として定着してきました。

桜台を離れて暮らしているお孫さんが、おじいちゃんの住んでいる桜台の夏祭りにきて、子供神輿や盆踊りに参加することを楽しみにしているという話を聞いて、桜台もようやく“ふるさと”になったという感激があります。

このようなイベントに積極的に参加していただくことで住民間の絆を強め、豊かな人生を謳歌していただきたく、その思いは高齢化を踏まえても年々強くなってきています。イベントやサークル活動、ボランティア活動の情報を知り、積極的に参加することで生きがいのある生活を楽しんでいただきたいと思います。桜台自治会には素晴らしいボランティア活動やサークル活動が沢山あり、公民館や支所に行かなくても、歩いて通える自治会館で十分に楽しむことができます。これは他の地区にない素晴らしいところです。1200世帯と規模的にも恵まれた自治会にとって先輩諸氏

が残してくれた素晴らしい自治会館は会員の力で後輩に引き継いでいかなければなりません。

## 5. サークル活動は生きがい

自治会には各種の趣味や文化活動のサークルがあり、同じ趣味を持つ人と楽しく交流し自己啓発につなげることができます。

代表的なサークルは、舞踊・お琴等の日本芸能、テニス・野球等のスポーツ、ヨガ・エアロビクスの健康体操、歌声・カラオケ・楽器演奏等の音楽、手芸・麻雀・詩吟等の趣味のサークルがあり、誰でも自由に参加することができます。

## 6. 桜台のユニークなボランティア活動に参加しませんか

会員の皆さんがボランティアで、熟年世代の皆さんの生活を豊かなものにするためにユニークな活動が展開されています。会員ならだれでも参加でき楽しむことができます。

ボランティア精神に富んだ会員の皆さんによって自発的に運営されている活動を、自治会は全面的にバックアップしています。ボランティア活動は自治会活動の中心的な活動として、今後とも推進を図っていきますので、ご協力をお願いします。

### (1) 桜台倶楽部

60歳以上の方を対象に“うきうき筋力体操”“カラオケ同好会”“麻雀同好会”“グラウンドゴルフ”“茶話会”や親睦旅行などを企画し、会員の親睦を図っている。

### (2) 婦人会さくら

70歳の一人暮らしの方を対象に“いきいきサロン”として食事会を開催し、バス旅行など企画して、一人暮らしの皆さんの親睦を図っている。

### (3) 防犯ボランティアパトロール

空き巣狙い、車上荒らし等犯罪撲滅を目標に、60名のボランティアが地区内を巡回し、巡回時のゴミ拾いなど地域内の環境活動にも貢献している。

### (4) 桜台花ボランティア

桜台地区のバスの周回道路の花壇に、花を植え、花を一杯に咲かせて地域美化に励んでいる。

### (6) ホームページ作成委員会

桜台自治会のホームページの作成・運営やパソコンの困りごと相談等で活躍しています。

ホームページでは、回覧版の内容だけでなく緊急時対応医療施設情報や会長への手紙などボランティアで運営され、最新情報で更新されている。

## (7) 桜台お助けマン

ボランティアとして”桜台お助けマン”グループに参加した会員の皆さんが、暮らしの応援隊として、会員の皆さんの暮らしをサポートしています。電気器具の点検修理、庭の植栽の手入れ、車を使った外出のお助け、網戸・障子貼りなどの屋内作業等をしています。材料費および削減工賃で決まる良心的な作業料金です。

## 7. 自治会費について

年会費 6,000 円(月 500 円)は、年間 720 万円で、自治会の主な収入です。収入として他に市からの各種補助金 120 万円、会館使用料 50 万円、寄付金等を含めて計 950 万円になります。主な支出は自治会館の事務局で、毎日 1 人勤務して3人で担当する事務員の給料 200 万円、電気代と通信費 100 万円、コピー等事務消耗品、清掃、営繕、保険料等で 200 万円、他の団体への協力金や渉外活動費 100 万円、防犯灯電気代・ゴミステーション等設備維持費 70 万円、夏まつりやボランティア活動の支援等の行事費 250 万円、積み立て金等 50 万円になっています。

自治会費が高いか安いかにについては、いろいろご意見のあるところですが、近隣の自治会(椎の木台自治会、年 6,000 円、緑園都市自治会、年 9,000 円、青葉台自治会、年 6,000 円)と比較しても妥当な金額ではないかと考えています。桜台 2 丁目と隣接するみどり町会は会員数 24 と少ないことから年 24,000 円と聞いています。

自治会館は建設後 40 年を経過して屋根防水、外壁塗装、ガラス窓防水等の大規模改修が迫っており、また地震・台風等の災害被害に備えて積み立て金の充実も必要なことから、無駄の排除、経費の削減には常に全力で取り組まなければなりません。会員の皆さんの貴重なご意見をお伺いして、改善に努め自治会活動をさらに会員の皆さんのお役に立てるようにしていきたいと考えています。

新型コロナ騒動で、専門部会活動は停滞し各種イベントは中止になっていますが、これからの自治会活動を考えていくための貴重な提案と時間を与えてくれているのではないかと思います。

先般のアンケートで提案された高齢化に対応した「新しい自治会活動の在り方」は、自治会費の有効な使い方にも踏み込んだ検討の場になるでしょう。会員の皆さんの英知と献身的な対応でこの難局を乗り切っていこうではありませんか。

以上

